

会計別の予算額

会計名	予算額		増減
	本年度	前年度	
一般会計	42億5,900万円	37億5,600万円	5億300万円
特別会計			
国民健康保険	8億5,869万円	9億22万円	▲4,153万円
老人保健	277万円	1億2,299万円	▲1億2,022万円
簡易水道	1億9,343万円	1億6,721万円	2,622万円
下水道	1億3,018万円	1億2,733万円	285万円
介護保険	6億2,915万円	6億492万円	2,423万円
後期高齢者医療	6,648万円	7,183万円	▲535万円
計	61億3,970万円	57億5,050万円	3億8,920万円

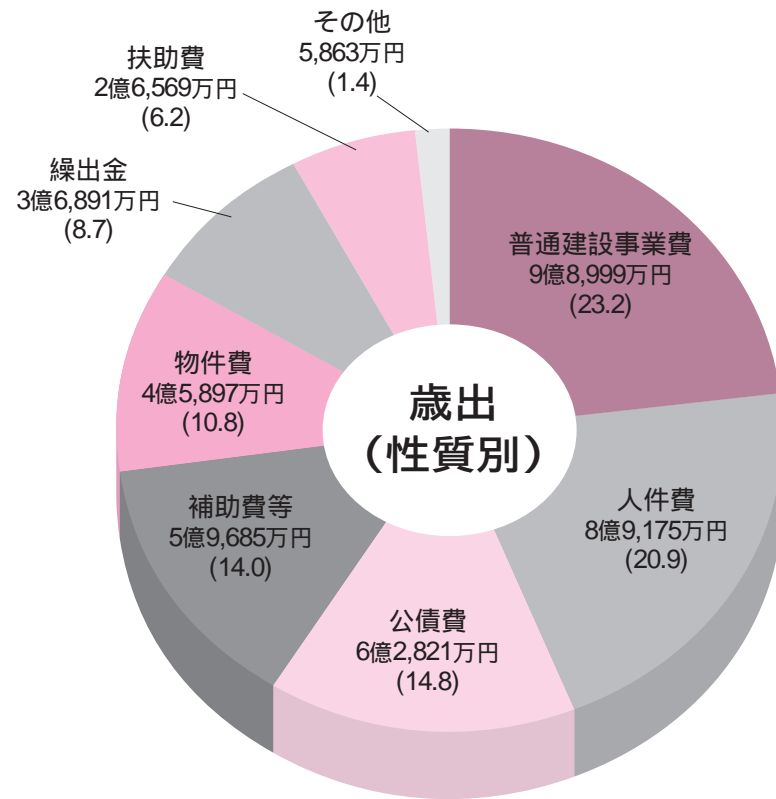
# 住田い

# まちづくり予算

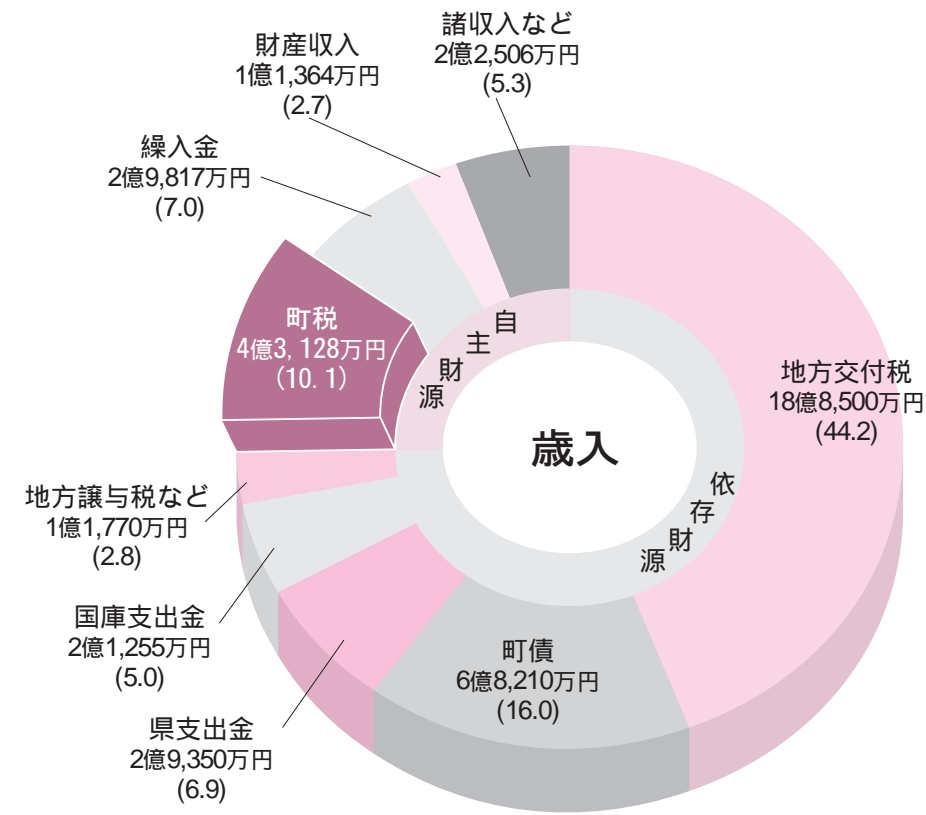
ずっと暮らせる地域づくりのために

目的別にみると

項目	予算額	構成比
教育費	7億7,265万円	18.1%
民生費	7億6,460万円	18.0%
公債費	6億2,824万円	14.8%
総務費	6億904万円	14.3%
農林業費	4億4,179万円	10.4%
土木費	3億7,930万円	8.9%
衛生費	3億3,383万円	7.8%
消防費	2億1,385万円	5.0%
議会費	7,284万円	1.7%
その他	4,286万円	1.0%

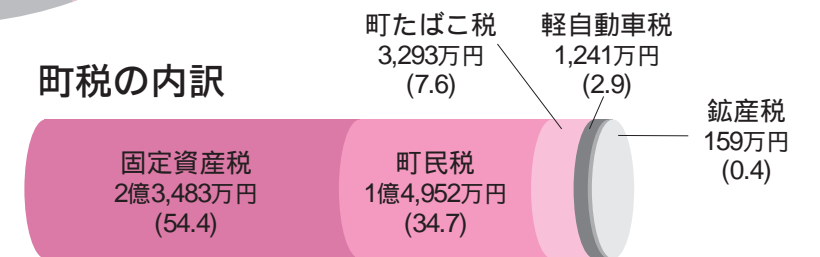


( )は構成比(%)



一般会計の総額は  
**42億5,900万円**

町税の内訳



用語解説

- 地方交付税** 国が各市町村の財政力に応じて交付するお金
- 町債** 金融機関や国、県などから借り入れるお金
- 繰入金** 基金(町の預金)や特別会計などから繰り入れるお金
- 扶助費** 児童福祉法や老人福祉法などに基づいて被扶養者に支給するお金
- 補助費等** 負担金や補助金、各種保険料など
- 物件費** 賃金、旅費、事務用品の購入など
- 繰出金** 他の会計に支出するお金

このほか物件費は衆議院議員選挙、町長選挙に係る経費や木質バイオマス発電施設点検料を計上したことなどから2700万円(6.2%)、繰出金は各種団体活動円滑化資金貸付基金の創設や国保会計への繰出金の増加などにより2209万円(6.4%)のそれぞれ増となります。

このほか物件費は衆議院議員選挙、町長選挙に係る経費や木質バイオマス発電施設点検料を計上したことなどから2700万円(6.2%)、繰出金は各種団体活動円滑化資金貸付基金の創設や国保会計への繰出金の増加などにより2209万円(6.4%)のそれぞれ増となります。

度比1527万円(2.4%)の減となります。同じく扶助費は中学生までの医療費の無料化や父子家庭に対する支援費の経費の計上、障がい者自立支援給付費の増などにより1908万円(7.7%)の増となります。義務的経費全体では、前年度に比べ103万円(0.1%)の増となります。

総額 平成21年度の一般会計予算総額は、42億5900万円と、前年度に比べ5億300万円(13.4%)の増となりました。これは、運動公園改修事業(事業費4億1170万円)や町有林基幹作業道開設事業(同6440万円)など普通建設事業費の増加が主な要因となっています。

このほかの歳入・歳出の特徴は次のとおりです。

**歳入**  
歳入のうち町税は、固定資産の評価替えなどにより前年度比1295万円(2.9%)の減となります。また地方交付税は、前年並みの18億8500万円を計上し、全体の44.2%を占めています。

この地方交付税のほか国・県補助金や町債(借金)などの依存財源は、運動公園改修事業に係る町債の増加により、前年度に比べ0.7ポイント増加の74.9%と、全体の約4分の3を占めています。

**歳出(性質別)**  
歳出を性質別で見ると、義務的経費のうち公債費は町債の返済金が減少したため前年